

保護者等からの児童発達支援 事業所評価の集計結果（公表）

事業所名：運動学習支援教室 そら・ふね上桜木

保護者等数（児童数）14名 回収数10名 割合 71.42%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88	13	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	63	25	13	0	言語聴覚士の配置をしてほしい。	採用活動等、現在行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	75	13	13	0	階段が怖いと感じる。	声かけや職員と一緒に降りるなど安全面に配慮して昇降ができるように取り組み、安全面を徹底しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88	13	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもや保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	100	0	0	0		
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100	0	0	0		
	7 個別支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	50	50		
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	25	25	13	50		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	88	13	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75	13	0	13		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38	13	50	0	今後あると嬉しい。	保護者会などイベントを組み、周知・参加を促しております。定期的を実施していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	88	0	0	13		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100	0	0	0		
18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	63	0	0	38			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	63	25	0	13		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	13	13	50		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	13	25	63		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	88	13	0	0	疲労に左右されることがある。職員への対応に満足している。	本人の状況によって療育の内容やベースに配慮しながら取り組んでおります。今後も職員対応の向上に努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	75	25	0	0	言語聴覚士がいると嬉しい。療育の動画を送ってくれるのがありがたい。	言語聴覚士の配置については、採用活動を行っております。引き続き動画等で様子を共有していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 そら・ふね上桜木 保護者等数（児童数） 25名 回収数 17枚 割合 68%

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94	6	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	71	18	0	12		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	59	6	18	18	階段があるのが少し怖い。	声掛けや職員と一緒に昇降するなど安全面に徹底して取り組んでいきます。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100	0	0	6		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	6	24	59		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94	0	0	6		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	100	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100	0	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	53	12	6	29	イベントを組んでくれている	引き続き保護者会等のイベントを定期的に組んでいきます。
	11	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88	0	0	12		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100	0	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	94	0	0	6		
常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	82	0	6	12		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	53	6	12	29		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	88	0	0	12		
	18	事業所の支援に満足しているか	76	24	0	0	言語聴覚士がいると嬉しい。	現在、採用活動を実施中です。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での注意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価

事業所名 : 運動学習支援教室 そら・ふね 上桜木

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	0	パーティションの利用	学休日の個別療育室の利用の工夫
	2	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	体調管理の徹底 他事業所との連携	
	3	生活空間は分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40	60	0	パーティションの利用 視覚的な補助（掲示物）の利用	
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	0	水回り等の清掃の徹底	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60	20	20		業務の分担をし、各職種の連携を図っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0	職員間で共有している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報等で公開しているか	100	0	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20	20	60		第三者による外部評価も検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	80	0	事例を使用しながら現場に反映している	社内研修の実施。外部研修の参加
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	80	20	0	自宅や事業所での様子を反映している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	60	0		
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40	40	20		より話し合いする時間を確保していく
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	職員が新しいものを考案して実施している	
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40	60	0		
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	100	0	0	保護者等のニーズに合わせて作成している	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	ミーティングにて内容の共有をしている	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40	60	0	支援記録用紙の活用 翌日のミーティングにて共有	
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	記録用紙の活用		

	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80	20	0		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	連絡帳等の利用	
	22	児発：移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60	20	20	保護者を通して園で実施していただいている。 相談員や担当者会議での情報共有	
	23	放デイ：就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40	60	0	相談員との間で実施	情報収集をより密にしていく
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20	60	20		
	25	児童館や保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	20	80		機会が少ない。実現にむけて検討。
	26	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	40	60		参加を検討していく。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80	20	0	連絡帳や動画の撮影 送迎時などで情報の共有をしている	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20	0	80	保護者ニーズに合わせて実施	より充実に向けて取り組んでいく
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	0		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	時間を設けて保護者をお話しし、他職種間での情報共有をしている	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20	40	40		保護者同士の連携を深められるイベント等の頻度を増やしていく
	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0		
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80	0	20	保護者への周知している	
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	80	20	0		
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40	0	60		さらなる地域住民との関わりを持てる行事の検討
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40	60	0		

非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20	60	20	避難訓練の実施	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	20	40	40		研修等の機会を増やしていく
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	40	60	0		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60	40	0		
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80	20	0	振り返りでの共有 記録用紙に記載	